

(四ヶ用水土地改良区記念碑前面)

佐久市四ヶ用水土地改良区 土地改良完成記念碑 衆議院議員井出一太郎書

(石碑の裏面)

この土地を潤している四ヶ用水は、今からおよそ370年前の元和年間に、市川五郎兵衛翁の献身的な努力により開さくされた。

取り入れ口は佐久市岩村田鼻顔稻荷神社の北方の湯川より取水し、延々7キロメートルを蛇行し、この用水路が完成された。

その後、昭和36年に四ヶ用水土地改良区が設立され、8ヶ年の工事で今までの土水路からコンクリート水路に改修され、水便は誠に良くなった。

次第に農業も近代化され、大型農業機械の導入と共に土地区画が要望され、昭和46年度より高瀬地区県営圃場整備事業として着工し、国、県、市当局ならびに関係機関のご指導ご援助と、工事請負者の誠意ある努力と、組合員の堅い団結とが一体となって、幾多の困難を乗り越えてこの大事業が完成した。

この基盤のもとに、今後いよいよ安定した農業の進展を祈念し、この感激を後世に伝えるための碑を建立する。(役員名の連名が刻まれているが省略)

第一工区事業概略

昭和46年度着工昭和59年度完了

総事業費 3億2千8百万円

受益面積 61ヘクタール

請負業者 株式会社木下組 佐久市中込

昭和61年8月10日

佐久市四ヶ用水土地改良区

高瀬地区県営圃場整備事業

記念碑敷地協力者 平嶋忠重

撰文 理事長 平嶋益次

書 古越寛空

記念碑請負事業者佐久市岩村田 飯田石材店